

にじみやとは

● 団体概要

2015年に設立、現在18名が在籍

● 活動目的

性的マイノリティの居場所づくり
性の多様性に関する啓発

● 活動内容

サークル内での交流会を中心に、
LGBTQsの学習会や啓発活動など



活動経歴内容①

●大学生協とのコラボ

宇都宮大学生協峰店とコラボして、書籍コーナーにLGBTQsに関する本を置く企画に協力。

本の選定とポップの作成をおこなった。



活動経歴内容②

●自主開催企画

ラーニングcommons学生スタッフと
コラボして自主開催イベントをおこ
なった。

LGBTQs 当事者の心理カウンセラー
の方をお招きして対談形式で開催。

オンライン交流会
マイノリティについて考えよう

ラーニングcommons
学生スタッフ × LGBTs 研究会
にじみや主催

ZOOM **2020 6/17** 水 20:00▶21:00まで

「マイノリティとは？」
異性愛、同性愛、性のあり方は、十人十色、みんな違って当然です。自分の「性のあり方」そして、ここでは主にセクシャルマイノリティにつ
いてお話しします。今回、傾聴心理カウンセラーの近野 直美さんをゲストにお迎えしてお話しします。セクマイならではの悩みや身の
話などを、フリートーク形式でやっていきます。

参加方法 **スマホOK**

Twitter :@nijimiya の参加URLにアクセスしてアプリを起動
質問も随時受付中!! zoomのコメントに書き込んでください。

活動経歴内容③

●公民館のイベント参加

足利市にある筑波公民館でおこなわれたヒューマンライブラリーというイベントに本（出演者）として参加。

LGBTQs ならでの体験ではなく、個人的な体験を中心に話した。

TUKUBA (第2回 筑波ヒューマンライブラリー)

HUMAN LIBRARY

主催: 筑波公民館

HAPPY

2月15日(土) 13:00~16:00

@筑波公民館

《人を“読む”という体験をお届けします。》

LGBT、外国人、依存症などの社会的マイノリティについて、テレビやネットで知る単なる知識ではなく、ひとりひとりの物語を実際に聞いて話すことで、本当の意味で知ることが出来ます。ぜひ、ご参加ください。(裏面に当日スケジュールを記載しています。)

参加費：無料 定員：50名

お申込：筑波公民館に下記の方法でご連絡をお願いします。

- ①電話で申し込み（筑波公民館 ☎：0284-71-2945）
- ②メールで申し込み（筑波公民館 ✉：tkb-k@city.ashikaga.lg.jp）
- ③直接来館で申し込み（足利市小曾根町 515 番地）

問合せ：ご質問等は、筑波公民館 担当 小寺（☎0284-71-2945）まで。

ヒューマンライブラリーとは・・・

社会的マイノリティの方を「本」に見立てその「本」の物語（経験や思い、考え方など）を、参加者＝読者が読む（聞く）という対話型のイベントです。

裏面に
続く

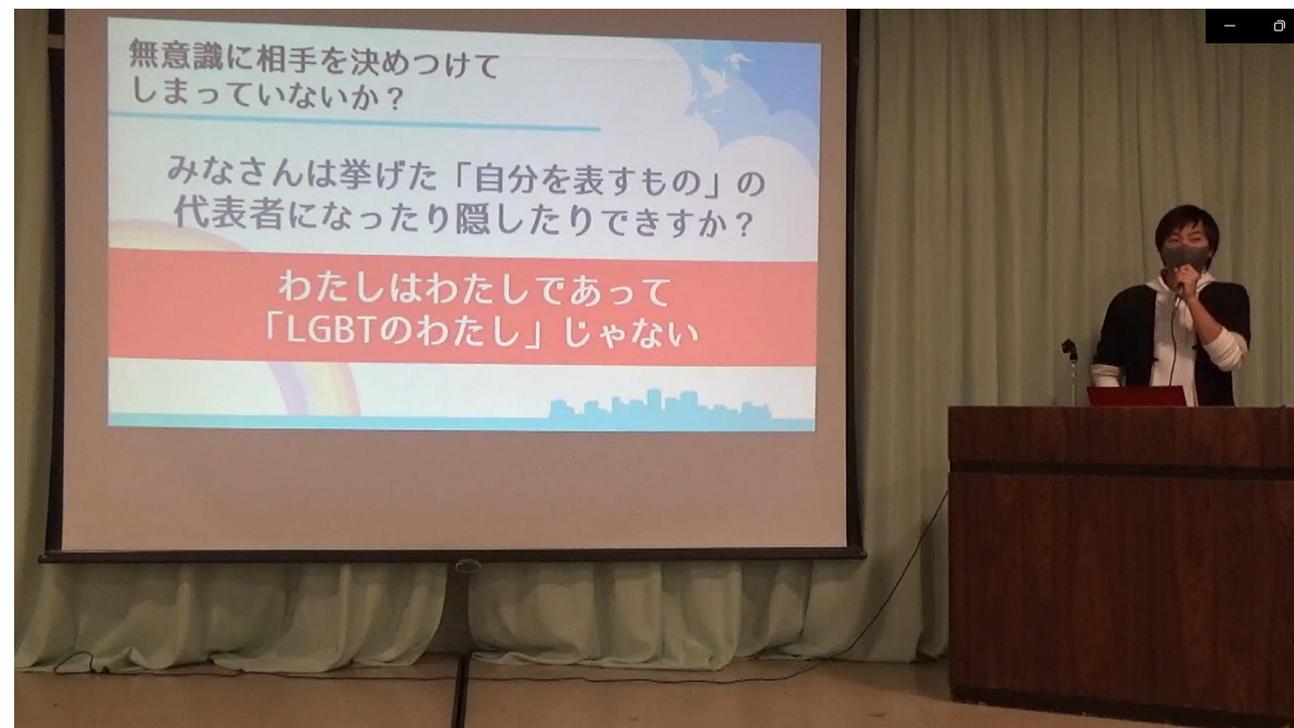


活動経歴内容④

●宇都宮市主催企画の登壇

宇都宮市男女共同参画推進センターの企画に登壇者として参加。

参加したメンバーそれぞれがオムニバス形式で伝えたい内容を講演。



活動経歴内容⑤

●学生企画の参加

中学生から大学生のボランティアが中心に開催された「セクガク2020」に、にじみやメンバー2人が登壇。



活動経歴内容⑥

● ラジオ出演

宮ラジの学生がパーソナリティを務める番組に出演。

にじみやメンバーが普段感じていること、みんなに伝えたいことを雑談感覚で話す。



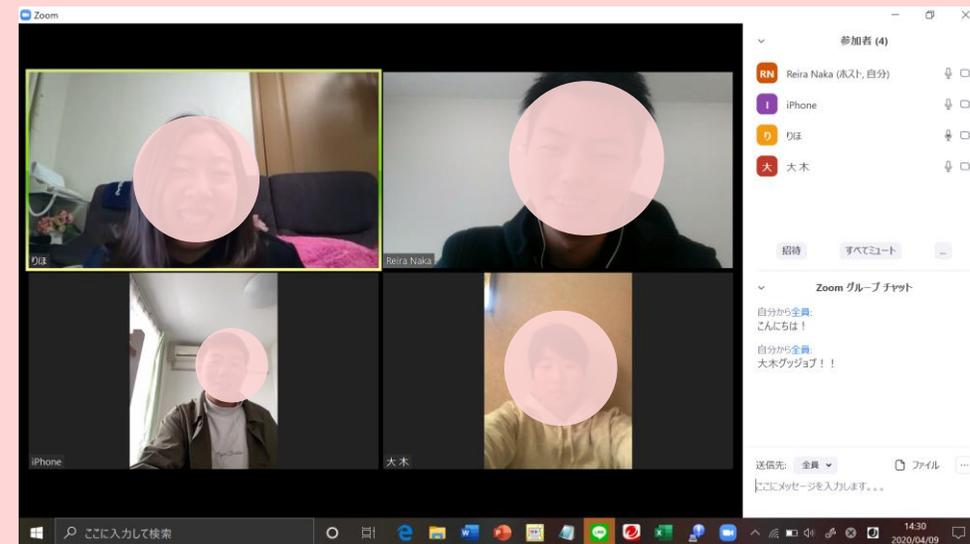
活動経歴内容⑥

●他大学のサークルとの交流

→白鷗大学、福島大学、明治大学などのサークルと大学間で交流

→複数の大学サークルが集まって行う大規模交流会の参加

大学の壁を失くしたオンラインを中心とした団体（SMUA）結成のきっかけとなる



SMUAとは

●団体概要

2020年に交流会をきっかけに有志の学生8人で結成し、現在10人で運営。

●活動目的

LGBTQsに安心感を与える
ポジティブに人々の意識を変える

●活動内容

所属の壁のないLGBTQsの交流会
よりよい社会の発展につながる活動



活動経歴内容①

●交流会

設立当初からおこなっている活動の一つ。様々な人を対象に、様々な形式で開催している。

代表的なものとしては、右に掲げているセクシュアリティ別交流会とSMUAゼミ。

4週連続開催！

セクシュアリティ別 オンライン交流会

6/27(日) 20:00～
女性を好きになる
女性の会

6/27(日) 20:00～
男性を好きになる
男性の会

日時:11月23日(火・祝)
19:00～20:00(オンライン開催)



1時間のSMUAゼミ

今回のテーマ **同性婚の法制化と意識の変化**

同性婚が法制化された国や地域では、人々の意識にどんな変化が起きている？
海外の事例を見て、日本の未来をみんなで想像してみよう！

活動経歴内容②

- 東大「ジェンダー論」の登壇
東京大学で開講されている「ジェンダー論」の授業にゲストとして登壇。

600人以上を対象に、3時間程度受講生からの質問に応えた。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

活動経歴内容③

● ラジオ配信

様々なメディアでメンバーが伝えたい、話したい内容を好きに語る。

映画「彼女が好きなものは」の草野 翔吾監督を招いた対談などもおこなった。



活動経歴内容④

●自主開催企画

様々な個人、団体とコラボして様々な企画を実施。

代表的なものとして、右に掲げているラーニングcommons学生スタッフと東京未来大学性教育サークルかふさんとコラボしたものがあある。

クイズで性について理解が深まる

ラーニングcommons
学生スタッフ主催

LGBTQ s ×性教育 学習会

開始までしばらくお待ちください。

本イベントは交流を目的としております。ビデオ・マイクONを推奨いたします。
難しい場合でも、チャット機能を使って話し合いにご参加くださいm(__)m



活動経歴内容⑤

●出張授業（予定）

佐野日本大学付属高等学校の授業で
高校2年生を対象に講話をする予定。

1月下旬を初回として、定期的に授
業をおこなう予定。



活動経歴内容⑥

●虹色のベンチ（予定）

大学構内にあるベンチを虹色にするプロジェクト。

LGBTQsの学生に安心感を与え、ストレートの教職員・学生に考えるきっかけを与えることが目的。

複数の大学で実施予定

→ 宇都宮大学が最初の提案

図9 市民に披露された虹色のベンチ



プロジェクト概要

校内に虹色ベンチを設営

LGBTQの尊厳と社会運動を象徴するカラーである虹色

多様性を考えるきっかけ

情報発信のシンボルに

寛容な学校である証明



プロジェクト概要

提案の背景と期待される効果

➤ 提案の背景

- ・ 宇都宮大学において、自分のセクシュアリティを尊重されていると実感する機会がなかった。
- ・ 宇都宮大学や周りにいる人たちがLGBTQsをどう捉えているか分からないため、常に自分を偽る必要がある。安心感のない環境。

➤ 期待される効果

- ・ セクシュアルマイノリティ当事者に安心感を与えられる。
- ・ ストレートの教職員・学生がジェンダーについて考えるきっかけになる。
- ・ 受験生や地域の人々に宇都宮大学は多様性に配慮した大学だとアピールすることができる。
- ・ SDGsの目標達成につながる。

プロジェクト概要

構内の人が集う場所に設置

正門前の広場、または生協の近くの通行の多い場所



プロジェクト概要

虹色のベンチ起点に様々な施策を

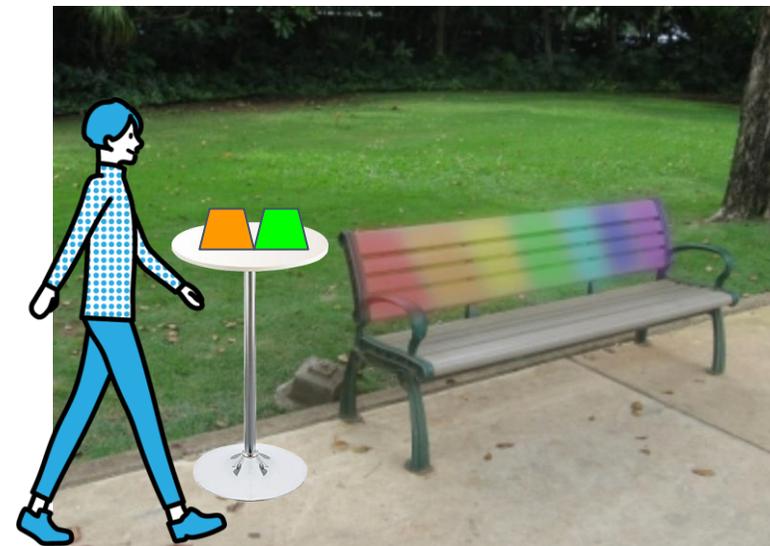
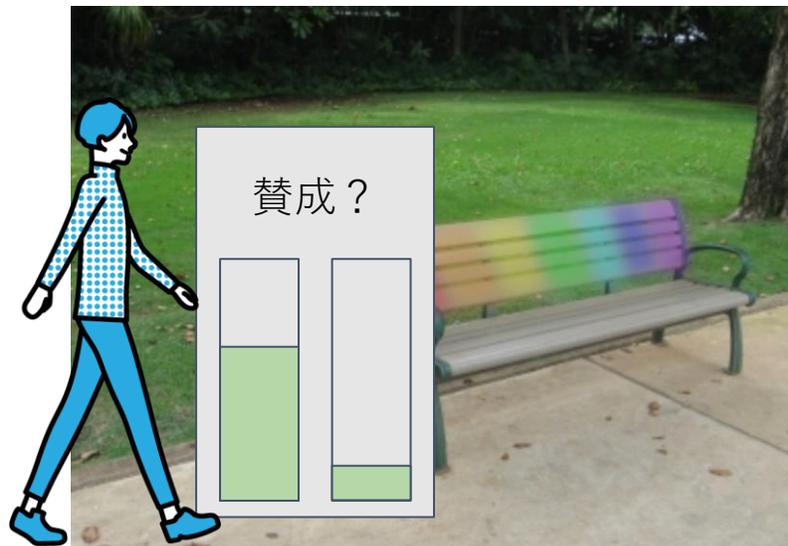
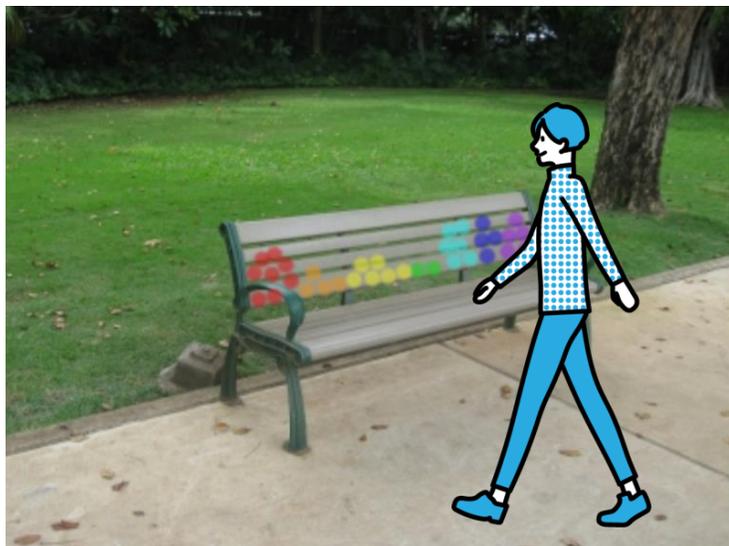
制作参加型



ゴミ箱による賛同の可視化



アライグズの配布



他大学の取り組み

国内外の教育機関での取り組み事例

通称名の使用認可、性別に囚われない「だれでもトイレ」の設置など



講演や冊子の配布(龍谷大学)

当事者の卒業生による講演会の定期開催や、大学生のためのLGBTQサバイバルブックVol.1『先輩たちのライフストーリーズ』を作成



今後の展望

朝日新聞主催の

「大学SDGs action! awards 2022」
に応募予定。

このプロジェクトは、
SDGsの⑤ジェンダーに関する目標
と関連する。

大学
SDGs
ACTION!
AWARDS
2020



2020年2月15日 渋谷キューズ

大学
SDGs
ACTION!
AWARDS
2022